

# 施策分析シート

No1

<b>施策名</b>	産業基盤の整備・充実	<b>施策No</b>	01-01	<b>部課名</b>	産業経済部経営支援課		
				<b>課長名</b>	石原久	<b>内線</b> 455	
<b>関連部課名</b>							
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	産業・教育・文化					
	<b>政策</b>	活力ある地域産業づくり					
<b>目的</b>	区が有する交通結節点としての優位性やモノづくり企業の集積等の地域ポテンシャルを活かした産業基盤の整備・充実を図ることにより、区内企業の活動を支援し、産業の活性化を促進する。						
<b>指標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>	
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)		
	①	地域産業情報システム有効データ（事業所）数（%）	33.1	32.2	33.3	50	登録数/区内企業数12,458 （16年事業所・企業統計調査）
	②						
	③						
	④						
⑤							
<b>現状と課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景気の低迷や外国製品との競合等による売上高の減少、経営者の高齢化や後継者難等により、事業所数の減少傾向が続いており、産業活力の低下を来たしている。</li> <li>・モノづくりの町荒川を再生するため、新分野進出、販路促進、後継者育成など、区内企業の経営革新に向けた取組みの支援を推進するため、ハード、ソフト両面から基盤整備を一層推進するとともに、新たな区の基幹産業となりうる新産業の育成に取り組むことが喫緊の課題となっている。</li> </ul>						
<b>今後の方向性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17年度に設置した産業振興懇談会において、新たな産業振興施策について検討を行っていく。</li> <li>・産業振興の拠点となる産業振興施設の整備の必要性等について総合的に検討を行っていく。</li> <li>・区内企業の情報を一元的に収集し、今後の産業振興施策に有効活用を図っていく。</li> <li>・区内のモノづくり企業の団体である工業団体連合会を支援し、企業間交流及び人材育成を促進する。</li> </ul>						

<b>施策の優先度</b>	<b>優先度についての説明・意見等</b>
B	ハード、ソフト両面から産業基盤の整備・充実を図ることは、区内産業の活性化を促進していくために必要不可欠であり、当該施策の優先度は高いと考える。

# 施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
産業振興施設整備基礎調査	04-02-10	-	-	B	産業振興の拠点となる施設の整備に向けた基礎調査は、ハード面からの産業基盤の整備・充実を図るもので重要。
地域産業情報システム事業費	04-02-20	2,402	2,279	B	区内企業の情報データベース整備・充実ソフト面からの産業基盤の整備・充実を図るもので重要。
産業振興懇談会運営費	04-02-30	-	6,741	B	新たな産業振興施策の構築のためには、各分野の専門家や企業経営者等による大所高所からの検討は重要。
工業団体連合会補助事業	04-02-32	38	37	C	工業団体連合会は区内のモノづくり企業を束ねる唯一の団体であり、その維持・継続のための一定の支援は、区内産業振興の観点から必要。
合 計		2,440	9,057		